

ベスト8・教育・事業本委員長特別賞

竜灯に集う今昔物語 竜灯に火が灯る常夜灯として目印になり、 集う人々を優しく照らす そういう光景も今は昔…



静岡 | 静岡県立天竜高等学校 選手…2年生3名、1年生1名[男子3名、女子1名]

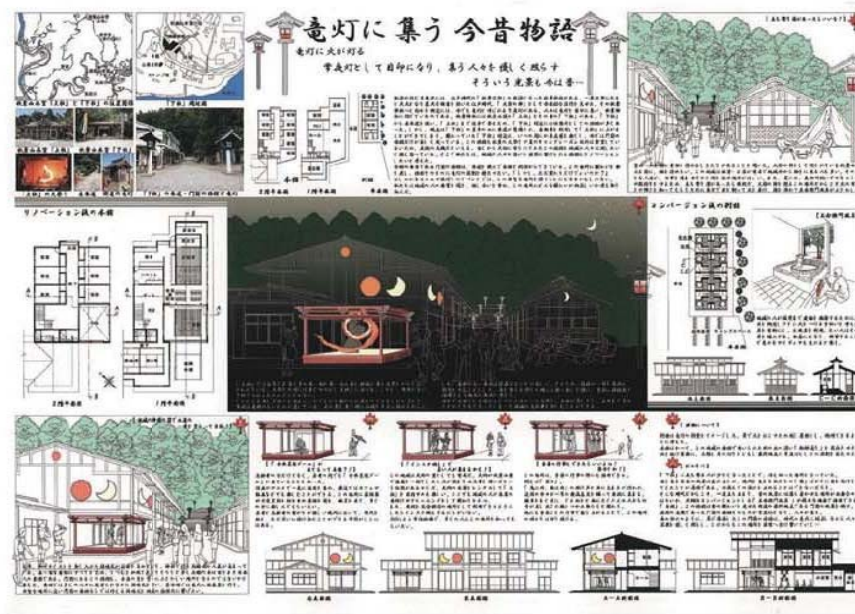
「竜灯に火が灯る、常夜灯として目印になり、集う人々を優しく照らす……そういう光景も今は昔……！」で始まる物語。

天竜地域に「秋葉神社」がある。山頂の「上社」と山のふもとに「下社」があり、「火防の神」として有名である。しかし、「下社」付近は、山頂への車道が整備されてからは存在感がなくなり、今は寂しく門前の旅館が残っている。これを題材にリノベーションをし、「下社」の復活を考えた作品である。手近なリノベーション案、イベント、カフェ等ではなく……！

目玉は、屋外に設けられた可動式の「舞殿」である。舞殿では、古典芸能、神聖な場所での結婚式、節分などの季節行事などを催して、門前の賑わいを期待している。

残存する木造の旅館は常夜灯の「竜灯」として扱い、窓明かりで参拝者を誘導する。作品画面の中央に夜景を思わせるパースを大きく配して、「舞殿」を浮かべさせる配置も注目させられた。また、画面周囲のパース画も清々しい。

神社という地域の宝を……その賑わいを願う力作である。 (遠藤)



ベスト8・青年委員長特別賞

AAA (All Aomori) ～点から線、線から面へと未来に繋がる絆～

青森 | 青森県立青森工業高等学校 選手…3年生3名[男子2名、女子1名]



現在の市況である観光客の増加に着目する一方、減少し続ける人口に歯止めを掛ける対策として、そして今回のテーマであるエリアリノベーションというお題に対し、ふるさとを支え続けてきた地域の特産や伝統文化といった観光資源に改めてフォーカスし、そしてそれをツールとし、地元住人が観光客と容易に交流できる工夫がなされた、大変「地元愛」を感じることができる作品であった。

計画としては3つのコンセプトを設定し、それぞれにおける長所と短所を把握し適所に配置することで、施設を利用する人の流れをつくっている。また、既存建築物の持つ可能性を見極め、それぞれの役割を仮定し、それを空中回廊でつなぐことで、建物や敷地内外にまで活性化を生んでいる。市の未来を考える上で有効な提案であり、今後、具体的に計画が進んでほしいと感じる作品であった。(川嶋)



ベスト8・女性委員長特別賞

この地で生きてゆく

石川 | 石川工業高等専門学校 選手…3年生1名[男子1名]



限界集落において住み続けるにはどうしたらよいか。神子原町において、自然の魅力や独自の文化を生かしたリノベーションの計画を行なうことで、よりよい居住環境をつくり出している。

活用要素として、空き家、既存施設、棚田を取り上げている。空き家では、コミュニティハウスとしての規格化を図ることで、躯体のしっかりした構造の建物であれば、どこでも利用可能な形態となっている。地域らしさが感じられる外観を残している点もよい。

さらに、3つのコンバージョン、人と人、人と物、人とシステムでつなげる未来という発想も面白い。その中で、既存施設を活用することで、幅の広がりをつくり出している。既存の利用の仕方だけでなく、新たな発想での利用の方法を提案している。そして、棚田における足湯というアイデアも面白い。自然の景色の中でゆったり過ごすことのできる空間は憩いの場となるであろう。

このような限界集落の地域において、これからの未来を考える上で可能な形をさまざまな角度で提案している。住み続けるための一つの提案として、全体的によくまとまっていると思う。(小野)

